

書名		音楽のおくりもの	17 教出
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○学習指導要領の目標及び内容を、[共通事項]を窓口に音楽を捉えながら、幅広い音楽活動を展開できるよう、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。</p> <p>○音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養うための教材や解説が示されている。</p> <p>○教材は我が国や諸外国の音楽文化について理解させると共に、幅広い学習活動ができるよう構成されている。</p>		
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○[共通事項]の用語や記号を当該ページの小口に掲載し、楽典のページとのリンクがはかられ、常に意識できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○音楽を形づくっている要素に注目し、言語活動が行えるよう工夫されている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各教材には、「Let's try」「伝えてみよう」「音のスケッチ」のコーナーがあり、活動の手順が分かりやすくまとめている。</p> <p>○歌唱共通教材「日本の歌みんなの歌」では、作者の紹介と思いが「A Message for you」で示され、写真や縦書きの歌詞が掲載されている。また、「歌のアルバム」として発達の段階に応じた合唱曲も掲載されている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫></p> <p>○各教材には、学習のめあてが二つずつ縦書きで記載されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めるための工夫></p> <p>○日本の伝統音楽の魅力を伝えたり、受け継ぐためにできることを考えさせる課題が用意されている。</p> <p>○日本と世界の音楽を聴き比べる課題が設定され、実際に体験して楽しめるような工夫がある。</p> <p>○「With my heart」では、現在活躍中の著名人が音楽の魅力を伝えている。</p>	
	資料	<p>○巻頭・巻末のカラーページでは、日本の音楽やオーケストラの楽器の写真が掲載され、音楽を身近に感じられる工夫がある。</p> <p>○AB変形判による楽典や写真は、必要な情報が見渡せるよう工夫されている。</p> <p>○作曲者と歴史の背景が簡潔にわかる「音楽史年表」が、鑑賞ページの右側小口に配置されている。</p> <p>○歌唱教材には、作詞・作曲者の楽曲への思いが「A Message for you」として示され、表現活動のヒントとなっている。</p> <p>○「私たちのくらしと音楽」では、音楽著作権やインターネット・コンピューターと音楽について触れ、生涯音楽を楽しむ手だてが書かれている。</p>	
	表記・表現	<p>○色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などのユニバーサルデザイン化により、特別支援教育への対応がなされている。</p> <p>○[共通事項]の用語や記号について、当該ページの小口に掲載するとともに、参照できるよう巻末の「楽典」ページがわかりやすく示されている。</p>	
総括	<p>○幅広い音楽活動を展開できるよう、基礎・広がり・活用の「三つの柱」で構成されている。</p> <p>○生徒や学校の実態に応じた選択が可能となる「歌のアルバム」には、「工夫してみよう」というコラムがあり、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされている。</p> <p>○命の大切さ、思いやりの心など道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。</p> <p>○直接記入できる工夫があり、学習活動経過を教科書に残せるようになっている。</p>		

書名		中学生の音楽	27 教芸
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり		<p>○学習指導要領に示された内容と各教材との関連が「音楽学習 MAP」で示され、歌唱・創作・鑑賞のバランスのとれた内容で、基礎的な技能や表現力が身につけられるよう配置されている。また、音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養うための教材や解説が示されている。</p> <p>○題材は「共通事項」を支えとした学習が確実に行われるよう設定され、表現と鑑賞の関連を図りながら、構成されている。</p>	
特色	内容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <p>○歌唱・創作・鑑賞教材には学習目標と、それに迫るための具体的な学習活動の手順が示され、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるように配慮がなされている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○思考・判断を行うための指針となる問いかけを「吹き出し」の形で示してあり、学習の観点が明確になっている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「My Melody」「Let's Create!」などの創作の学習では、手順が分かりやすく示され、個人活動とグループ活動等によって主体的に「協働」しながら学習する工夫がなされている。</p> <p>○学習の窓口では、[共通事項]が示され、主体的に学習を進める構成になっている。</p> <p><音楽活動の基礎的な能力を伸ばすための工夫></p> <p>○音楽に関する基礎的な技能を養うことができるよう、「My Voice!」や「指揮をしてみよう!」といったコラムでは、基礎的な技能を主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○「BINGO GAME」「RHYTHM GAME」「ここが分かれば Grade up!」等、音符や休符、読譜等のための基礎を確実に習得できるような教材が用意されており、創意工夫して表現するための解説が示されている。</p> <p><音楽文化についての理解を深めるための工夫></p> <p>○我が国の伝統的な音楽や郷土の伝統芸能の学習が確実に行われるよう配慮されている。また、アジアやヨーロッパの音楽に発展できるよう課題が用意されている。</p> <p>○発展的学習では、日本以外の鑑賞活動の楽曲に、「この頃、日本では…!？」というコーナーがあり、同時代の日本の歴史等に触れる工夫がある。また、「Challenge!!」というコーナーでは、さらに発展的学習課題が用意されている。</p> <p>○「心の歌」「歌い継ごう日本の歌」「心通う合唱」では、小学校の既習曲等を混声合唱に編曲したもの、同一曲を学年に応じて編曲したもの、世代間や他の国との交流を意識した歌唱教材が用意されている。</p>	
	資料	<p>○巻頭・巻末に口絵として幅広い音楽への興味関心が高められるような資料が用意され、より興味関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>○2・3年下では、日本や諸外国の音楽文化や舞台に関わる情報や生涯音楽と向き合うためのルールや著作権法の内容が取り上げられている。</p>	
	表記・表現	<p>○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている。</p> <p>○重要な学習事項が優先的に目に入るようなシンプルなユニバーサルデザインである。</p>	
	総括	<p>○グローバル化に対応するよう、全学年に「歌い継ごう日本の歌」として童謡や唱歌などが取り入れられ、世代を超えて日本文化の共有ができるように工夫されている。</p> <p>○命の大切さ、思いやりの心など道徳教育に資する歌唱教材が掲載されている。</p>	